

歴史博物館

期間 開催中～5月25日(日)

●企画展 美りの考古学ー美濃の農耕事始ー

東海地方西部では、弥生時代後期から古墳時代の初めにかけて作られた、器面に赤色顔料で装飾を施した土器が出土しています。壺などの口縁部や下胴部が赤色で彩色された華やかな姿がギリシャのクレタ文明における宮廷(パレス)様式の土器を思わせることから、「パレススタイル土器」と呼ばれています。



▲パレススタイル土器 岐阜市城之内遺跡(県文化財保護センター蔵)

これらの土器は、さまざまな儀式やまつりの場面で使われた特別な土器であると考えられています。

◆開館時間 午前9時～午後5時(入館は30分前まで)

◆休館日 毎週月曜日(5月5日は開館)、5月7日(休)

◎観覧料など、詳細は岐阜市歴史博物館ホームページに掲載。

【関連イベント】学芸員による展示解説】

◆日時 5月9日(金)午後2時～3時 ※事前申込不要

●子ども歴史講座

◆日時・内容 ①6月28日(土)=文字と本の歴史：昔の本を調べて、和とじ本のノートを作ろう

②7月12日(土)=ちようせん！むかしのくらし：アクセサリーやミニチュア土器を作ろう ※時間はいずれも午前9時30分～正午

◆対象者・定員 小中学生(義務教育学校1～9年生)／各15人 ※小学1・2年生は保護者同伴 ◆受講料 200円(材料費含む)

◆申込 ①は5月28日(休)、②は6月12日(休)(必着)までに往復はがき※(1世帯1枚)を歴史博物館へ郵送または岐阜市歴史博物館ホームページの申込フォームから申し込む。申込者多数の場合は抽選。

※講座名、郵便番号・住所、氏名、学校名・学年、電話番号(緊急連絡先)を記入。



【共通】■歴史博物館(〒500-8003大宮町2-18-1・☎265-0010) ↑詳細はこちら

岐阜大学の講座

●親子で楽しむ食農教育 育てて食べよう芋煮会！

◆期日 6月8日(日)=サツマイモの苗定植など、11月=収穫、芋煮会(詳細は後日決定)〈全2回〉◆時間 午前10時～午後1時 ◆対象者 年長～小学生(義務教育学校1～6年生)※子ども1人につき保護者1人同伴 ◆定員 10組(20人) ◆参加費 2,000円 ◆申込 5月12日(月)～30日(金)に岐阜大学応用生物科学部ホームページの申込フォームから申し込む。先着順。◆場所・■岐阜大学応用生物科学部(柳戸1-1・☎293-2972) ◎詳細は、ホームページに掲載。 詳細はこちら▶

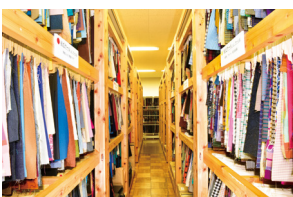


岐阜連携都市圏を知ろう！④ 羽島市

テキスタイルマテリアルセンター／毛織会館

テキスタイルマテリアルセンターは、全国的にも珍しいテキスタイル素材の資料館です。

東京、上海、ミラノなどの展示会に出品された国内企業の素材や、尾州産地の企業が開発した素材など、毎年3千点以上のファッション衣料用素材がセンターに一堂に集められ、12万点の素材サンプルが常時展示されています。センター隣接の毛織会館では、尾州産地で生産された高品質の在庫生地や見本反、マフラーやストールを安価で販売しています。



テキスタイルマテリアルセンターの
詳細はこちら▶

◆開館時間 午前9時30分～午後5時

◆入館料 無料

◆場所・■テキスタイルマテリアルセンター(羽島市竹鼻町蜂尻448/TEL 391-8511)



【ページ番号検索】市ホームページには「ページ番号検索」機能があります。7桁の番号を入力すると直接該当ページにアクセスできます。(掲載例：■ 1234567)

おいしく簡単フレイル予防
レシピ集(改訂版)を発行しました

年をとって体や心のはたらき、社会とのつながりが弱くなった状態をフレイル(要介護予備群)といいます。簡単でおいしいフレイル予防レシピ26種に加え、フレイルを予防する食事のとり方、バランス良く食事をとるための組み合わせを紹介するレシピ集を発行しました。保健所、各保健センターで配布しているほか、市ホームページ(HP 1004312)でレシピ集・レシピ動画(全26種)を公開しています。ぜひご覧ください。■保健所健康づくり課☎252-7180



畜産センター公園の催し

参加無料

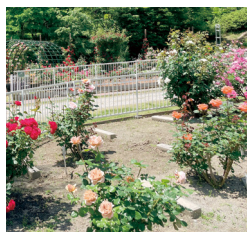
●バラまつり

◆日時 5月17日(土)・18日(日)の午前10時～午後3時

◆内容

・バラ苗の販売(売り切れ次第終了)

・バラの人気投票(投票参加者の中から抽選でバラ苗などを進呈)



●青空ヨガ教室

◆日時 5月23日(金)午前10時～11時

◆集合場所 畜産センター公園 時計塔広場

◆講師 棚橋もどりさん(ANGEL RING)

◆定員 20人

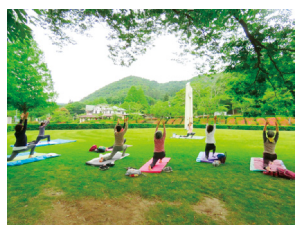
◆申込 5月12日(月)午後5時までに電話または直接畜産センター公園管理事務所へ。申込者多数の場合は抽選。

※雨天の場合は屋内で開催。

【共通】

■畜産センター公園(椿洞776-4・☎214-6333(午前10時～午後5時))

◎詳細は、岐阜市畜産センター公園ホームページなどに掲載。



男女共同参画週間事業講演会

受講無料

●伊藤瑞子さん(MISIAの母)が語る～「育児の共有」から新しい未来へ～

◆日時 6月21日(土)午後1時30分～3時 ◆場所 ハートフルスクエアーG大研修室(橋本町1-10-23) ◆定員 100人 ◆申込・■ 6月11日(休)(必着)までに往復はがき※を女性センター(〒500-8521橋本町1-10-23・☎268-1052)へ郵送または岐阜市女性センターホームページの申込フォームから申し込む。申込者多数の場合は抽選。※講座名、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、託児(満1歳～未就学児対象)希望者は子どもの氏名、生年月日を記入。希望者多数の場合は抽選。 詳細はこちら▶



生涯学習センターの講座

①美濃・飛騨に残る源平ゆかりの地～「平家物語」を巡る旅～

◆日時 6月28日(土)午後2時～3時30分

◆講師 三木秀生さん(元中部学院大学講師) ◆定員 80人

◆受講料 300円 ◆申込締切 6月11日(休)

②パソコン指導者養成講座 パソコン指導力レベルアップ

◆日時 6月26日、7月3日・10日・17日・24日・31日、8月7日の各(休)午後1時30分～4時30分

◆対象者 ワード・エクセル・パワーポイントを使った経験があり、地域で活動している指導者またはこれから指導を始める人

◆定員 20人 ◆受講料 2,100円 ◆申込締切 6月12日(休)

【共通】■場所 ハートフルスクエアーG(橋本町1-10-23)

◆申込・■ 各締切日(必着)までに往復はがき※(1人1枚)を郵送または返信用はがきを持参して直接生涯学習センター(〒500-8521橋本町1-10-23・☎268-1050)へ。生涯学習センターホームページの申込フォームからも申し込み可。申込者多数の場合は抽選。

※講座名、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、年代、電話番号、

②は指導経歴または今後の活動予定を記入。 詳細はこちら▶



ぎふ長良川の鵜飼

開催期間：5月11日(日)～10月15日(休)

岐阜の夏の風物詩、ぎふ長良川の鵜飼がいよいよ5月11日(日)に鵜飼開きを迎えます。宮内庁式部職に任命された6人の鵜匠が、漆黒の闇の中、篝火と鵜を巧みに操り鮎をとらえる様は必見です。ぜひ観覧船をご利用いただき、ぎふ長良川の鵜飼をお楽しみください。■鵜飼観覧船事務所(湊町1-2・☎262-0104)

インターネット予約

ぎふ長良川の鵜飼ホームページはこちら▶

ぎふ長良川の鵜飼ホームページから予約できます。

◆支払方法 クレジットカード(オンライン決済・一括払い)



鵜飼観覧船事務所窓口での予約

※電話での予約はできません。

◆受付時間 午後3時～7時30分

(5月10日(土)までは午前10時～午後5時30分)

◆支払方法(窓口にて) 現金またはクレジットカード(事前決済・一括払い)

【注意事項】

・乗船料の支払い手続き完了をもって予約完了となります。

・乗合船は乗船日の3日前、貸切船は7日前から取消料が発生します。

・人数の減員、乗船日の変更なども、取消料の対象となります。

長良川夜市2025

ぎふ長良川の鵜飼観覧と一緒に、川に親しむマルシェイベントです。

◆期間 5月11日(日)、10月15日(休)、5月17日～10月11日の毎週土曜日(6月～9月は第3金曜日)の午後5時～9時 ※鵜飼が中止の日、ぎふ長良川花火大会開催予定日(8月9日・23日)を除く。◆場所 長良川右岸プロムナードエリア ◎詳細は、市ホームページ(HP 1031520)に掲載。

■ぎふ魅力づくり推進政策課☎265-3980

長良川うかいミュージアム
鵜飼開きイベント「鮎雑炊のふるまい」

無料

鵜飼開きの風習にちなんだ鮎雑炊のふるまいを開催します。

◆日時 5月11日(日)午後6時～7時 ※先着順。なくなり次第終了。

◆場所 長良川うかいミュージアム 西阿

●午後5時～6時は、当日の展示室観覧者先着50人に配布する引換券持参者を対象に開催。■長良川うかいミュージアム(長良51-2・☎210-1555) ◎詳細は、長良川うかいミュージアムホームページに掲載。

あなたも自治会に加入しませんか？
～お互いが支え合い、人生をより豊かにするために～

私たちは、生まれてからいろいろな人と出会い、関わりながら成長してきました。生きがいをもって豊かな人生をおくるためには、心身ともに健康であると同時に、人と人とのふれあいが大切です。地域のつながりを大切にしながら暮らすことは、日々の安心を支え、生きがいを見つけるきっかけにもなります。その役割を果たすのが自治会です。

能登半島地震の際には、日頃のコミュニティ活動が功を奏し、迅速に全員の安否確認を行い、がれきに埋まってしまった住民を救出したケースもあります。いざという時に頼りになる人が、どこにいるのかわかっておくと安心です。

人生をより豊かにし、あなたや、あなたの大切な家族、地域を守るために、自治会に加入しませんか。

自治会の活動

- いざという時に備える防災活動
- ごみステーションの管理
- 子どもや高齢者の見守り
- 夏祭りや運動会など、地域の絆を深める地域交流
- 地域情報などの配布・回覧や日頃の声かけ

自主防災組織を結成

- 市内50地区の全自治会連合会で、自主防災組織を結成
- 平時は、防災訓練や啓発活動
- 災害時は、避難所の開設・運営



▲岩野田地区での避難訓練の様子



▲芥見地区での見守り隊活動の様子



▲鶯地区での通学路安全対策ワークショップの様子



▲常磐地区での夏祭りの様子

■自治会の加入に関すること＝市民活動交流センター☎214-4791、自主防災組織に関すること＝危機管理課☎267-4763